

く に み

広報

No. 540

2018

7

平成30年7月





阿津賀志山防塁（二重堀始点地区）

阿津賀志山防塁は、文治5年（1189年）に奥州藤原氏が源頼朝を迎え撃つため、阿津賀志山の中腹から3.2kmにわたって築いた防御施設です。二重堀始点地区では、林道阿津賀志線下から東北自動車道沿いに至る長さ約100mの急勾配に防塁が構築され、林の中に防塁の遺構を明瞭に確認できます。

この地区では、これまで段階的に史跡指定を進めてきましたが、今年の6月に史跡の一部が追加指定されました。今号の「歴まちさんぽ」(P17)で、今回の追加指定の内容についてお伝えします。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

目次

28	26	22	20	18	17	16	15	14	6	5	4	3	2	
カレンダー	生涯学習つうしん	くらしの情報	保健だより	まちのわだい	歴まちさんぽ	奨励金交付、新制度へ移行	国見町教育委員会	特集 地域で広がるささえ愛の輪	平成30年度国見町国民健康保険税	限度額が変わります 高額療養費&高額介護合算療養費	小さな天才たち	くにみ農業ビジネス訓練所始動、短冊に願いを込めて	地域を守るく国見町消防団定期点検	目次

～今月の表紙～



くにみももたん広場では『七夕』にちなみ、笹飾りを作って展示しています。笹飾りには子どもたちの「願いごと」が書かれた短冊がたくさん。みなさんの「願いごと」が叶いますように。



いつ、どこで発生するか分からない災害。私たちの生活は、常に災害の危険と隣り合わせです。国見町消防団では、災害から「町民の生命と財産を守る」という崇高な使命感のもと、日頃から訓練に励んでいます。その成果を披露する「国見町消防団定期点検」が6月24日、県北中学校校庭で行われました。

定期点検表彰受賞者

(敬称略)

- ▼【福島県消防表彰】
精勤章 野村道夫
- ▼【日本消防協会定例表彰】
精勤章 佐藤誠
勤続章 野村伸一
- ▼【福島県消防協会定例表彰】
功績章 村上信夫
精勤章 実沢喜平、鈴木弘之、佐藤武、齋藤幸雄
- ▼【国見町消防団長表彰】
退職団員感謝状 佐藤誠、寺島正男、佐久間清市、安藤四郎、高野正喜、大沼啓助、遠藤和彦、佐藤仁
- ▼【優良消防団員】
遠藤正彦、古山和也、高橋慎一、渡邊茂明、高野朋弘、後藤学臣、舟生昌紀、菅野宏昭
- ▼【親子等消防表彰】
渡辺輝泰、渡辺翔



定期点検に先立ち行われた観閲式では、藤田商店街に整列した消防団員を前に、統監の太田久雄町長が車上から観閲しました。

会場を県北中学校校庭に移して行われた定期点検では、今年度の各種表彰が行われた後、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、ポンプ操作などが行われ、機敏な動きで日頃の訓練の成果を披露しました。

村上信夫消防団長が「より一層の予防消防を図るとともに、団員が一致団結して各種災害防止に努めていきます」とあいさつし、参加者は防災への誓いを新たにした。

- ▼【消防協会伊達支部定例表彰】
功績章 遠藤善昭、鈴木和幸
- ▼精勤章 佐藤徳幸、実沢博之、鈴木孝治、尾形誠、菊地太、吉田長一、佐藤敏信、徳江勇二、岩城学、村上智義



表彰を受ける野村教養分団長

各種研修もスタート

「くにみ農業ビジネス訓練所」では、さまざまな「研修」を通して、町の基幹産業である農業の担い手を育成していきます。

『稼げる農業』を学ぶ 短期研修スタート



「売れる野菜の作り方」を学ぶ受講生

短期研修が6月13日に開講し、初回は「野菜の多品目栽培技術」の研修となり、町内から11人が受講しました。

研修では、鈴木農場・伊東種苗店代表の鈴木光一さんを講師に、「売れる秋冬春野菜の作り方」と題して講義が行われました。鈴木さんは「大切なのは『いつ種をまけるか』ではなく、『いつ売りたいか』から逆算して播種の時期を計画すること。収穫の最盛期を外して出荷することで、収益性の高い農業ができます」と話し、時期に適した種の選び方や栽培技術などを説明。受講生は『稼げる農業』の技術を学ぼうと、熱心に聞き入っていました。

親子で農業の楽しさを知る 体験研修スタート



サツマイモの苗を植える親子

体験研修が6月9日に開講し、初回は「サツマイモ栽培体験研修コース」でスタートし、町内の6組の親子15人が受講しました。

受講した親子は、訓練所職員からサツマイモの知識や苗の植え方などの講義を受けた後、訓練所の畑で「シルクスweet」という品種の苗植えに挑戦。子どもたちは、土の感触を楽しみながら、丁寧に苗を植えていました。仕上げにたっぷりと水をあげた後、直射日光を防ぐため新聞紙をかけ、苗の健やかな成長を願いました。

収穫期を迎える10月には、サツマイモの収穫体験も行われる予定です。

くにみ農業ビジネス訓練所 始動

「くにみ農業ビジネス訓練所」では、養液栽培トマトの出荷がスタート。各種研修も開講し、「くにみ農業ビジネス訓練所」が本格的に始動しました。

とれたて新鮮！甘くておいし〜い 養液栽培トマト出荷開始

6月に入り、「くにみ農業ビジネス訓練所」で栽培されたトマトの出荷が始まりました。

トマトの初出荷を記念して、同訓練所で収穫したミニトマトと中玉トマトの無料配布イベントが6月23日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。配布に先立ち、太田久雄町長が「大変甘く仕上がっているの、ぜひご賞味ください」とあいさつ。配布が始まると、用意したトマト200袋はあっという間になくなるほど好評でした。

先進的な「養液栽培システム」によって栽培されたこのトマトは、訓練所の目玉商品の一つ。今後、町を代表するブランド野菜としても期待されています。



1



3

- 1 道の駅来場者にトマトを配る太田町長と「くにみもたん」
- 2 おいしそうなおトマトに来場者と「くにみもたん」も笑顔
- 3 訓練所のハウス内で養液栽培されている中玉トマト。高品質のトマトを安定的に生産することができます。



2

続々出荷中！「訓練所」育ちの新鮮野菜

「くにみ農業ビジネス訓練所」では、トマトの他にも同所で栽培した新鮮な野菜を道の駅に出荷しています！



道の駅で好評のトウモロコシ



「きょうりゅうのまち」

さいとう こうせい



「海賊船」

きつない たいよう

くにみ幼稚園

小さな天才たち



「ピヨちゃん」



「ピヨちゃんとケーキのおうち」

さいとう りんか
むらかみ ことみ



「カップケーキ」

やしま さくらこ
ひきん ゆづき



5

くにみもたん広場～七夕～ 短冊に願いをこめて

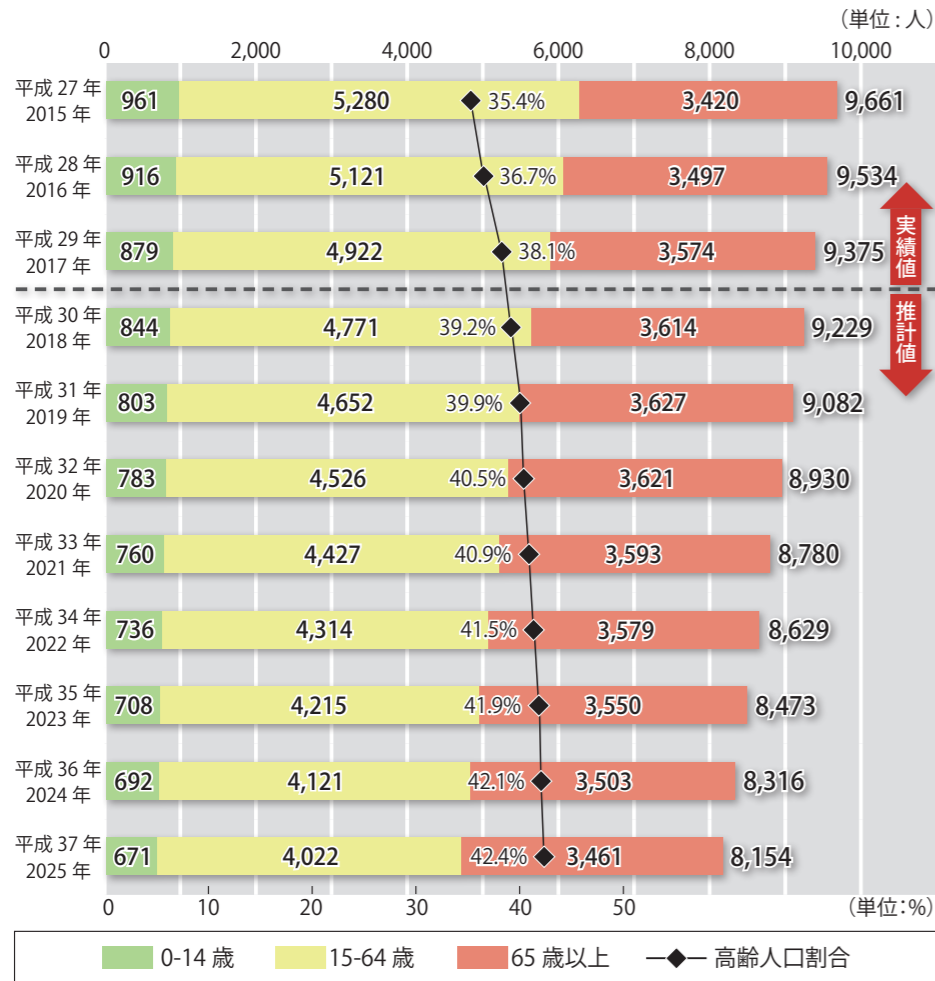
くにみもたん広場では、子どもたちに七夕を楽しんでもらおうと、七夕飾りを作りました。

短冊に願いごとを書く子どもたちの表情は真剣。きれいに色づけた短冊が出来上がると、「願いごとが叶いますように」と祈りをこめながら、笹の葉に丁寧に飾り付けていました。



- 1 2 願いごと何にしようかな？
- 3 笹飾りには優しさあふれる願いごとが書かれた短冊がたくさん
- 4 5 「願いごとが叶いますように」

国見町の人口と高齢化率の推計



資料：平成27年から29年度は住民基本台帳の実績値。
平成30年度以降はコーホート変化率法による推計値。 各年10月1日現在



源宗山地区で開催されている『こらんじょ会』の一コマ。紙風船を使ったゲームで盛り上がる参加者からは笑顔が絶えません。

特集 地域で広がる ささえ愛の輪

超高齢社会の今、高齢者のみなさんが、住み慣れたこのまちで安心して暮らし続けることができる地域づくりが大切となっています。今号では、「地域の居場所」づくりに取り組む「くにみささえ愛」の活動について紹介します。

そこで、地域における「支え合い」の輪を広げていくため、「地域の居場所」づくりを地域の人々を中心となつて創り出す仕組みづくりを進めようと、平成29年3月に「くにみささえ愛」が立ち上がりました。

「くにみささえ愛」では、月に一度、地域福祉に携わるみなさんが集まり、これからの「地域づくり」について話し合いをしています。

これからの地域づくりを考える「くにみささえ愛」

を切るほどまでに減少し、家族の小規模化と高齢化が進む中で、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯は増え続けています。

超高齢化と少子化を伴いながら進む人口減少に向き合っていくためには、地域のみなさんの「支え合い」が不可欠です。暮らし続けてきたふるさとを守り、次の世代に繋ぐためにも、今こそ、かつての「結」のような地域づくりが必要なのではないでしょうか。

「結」の心をもつ一度

かつて、日本各地では「結」といわれる地域活動が行われていました。

「結」とは、田植えや稲刈り、屋根ふき、冠婚葬祭や年中行事など、暮らしの営みを地域の住民が協力しながら行う「相互扶助（組織）」のことをいいます。そこにあるのは、「他人事を自分事に」という助け合いの精神。「結」は、地域の絆や結束力を生み出す土台でもありました。

古くは、国見町においても各地域で「結」の活動が活発に行われ、住民同士の「支え合い」によつて地域社会を維持発展させてきました。しかし、少子高齢化や生活スタイルの多様化による核家族化が進み、地域との関わりは次第に薄れ、「結」が失われつつあります。

国見町における平成29年10月1日現在の65歳以上の高齢者数は3,574人で、町人口の約四割を占めます。一方で、14歳以下の年少人口は879人と、一割

す。ここには、「地域の居場所」づくりに取り組んでいる『こらんじょ会（源宗山地区）』、『いっぶくの会（塚野目地区）』、『宮東町内会』のみなさんも参加し、各地区の特色ある活動の報告と振り返りを行います。課題や反省点も出されますが、参加者のみなさんから多くの意見やアドバイスが寄せられ、話し合いの成熟度の高さがうかがえます。

そこに、私たちが、今後さらに加速していく超高齢社会を乗り越え、住み慣れた地域で、笑顔で安心して暮らし続けていくための「ヒント」があるのです。

◀地域住民総出で行われた屋根の葺替え作業（昭和43年頃）





01 地域の取り組み

『こらんしょ会』、『いっぶくの会』、『宮東町内会』では、“地域の居場所”づくりの活動に取り組んでいます。それぞれの地区における取り組みを紹介します。

『いっぶくの会』は平成29年8月に活動を開始。佐藤勢津子さん、佐久間弘子さん、菊地軽子さん、小島よねさん、佐久間喜子さんの5人が協力スタッフとして運営しています。会の主な活動はお茶会。スタッフ

「ちまき作ったのはじめて!」「もって食べてもいい?」
 6月17日、塚野目集会所で開かれた『いっぶくの会』。この日は、地区の子どもたちも集まり、旧暦の端午の節句にちなんで「ちまき(笹巻)」づくりに挑戦。地区のみなさんに作り方を教えてもらいながら、慣れない手つきで笹の葉を巻く子どもたちの表情は真剣。出来上がった「ちまき」にきな粉をたっぷりつけてぱくり。「はじめに食べたけどおいしい!」と、顔をほころばせる子どもたち。その笑顔につられるように、様子を見守っていた地区のみなさんにも笑顔が広がりました。

「今日は楽しかったこと〜。ごちそうさまない」
 「また、来月ない。次は“さなぶり”やっからこらんしょよ」

「みなさん手作りの“お茶うけ”を囲んで世間話をしながら、参加者は思い思いの方法で自由に過ごし、毎回20人以上が顔を出します。また、年間の活動計画を立て、季節の行事などを取り入れた活動も行っています。」
 「農作業の合間や散歩の途中に気軽に一服して欲しい」。そんな思いを込めて名付けられた『いっぶくの会』。午後から始まる間もなくは女性の参加者が目立ちますが、午後3時過ぎになると農作業をしていた男性のみなさんが「一服しにきたぞい」と顔を出します。「遅かったね。来るの待ってたよ」、「暑いから水分取ってね」。そんなやりとりからは、家族のような「絆」がうかがえます。
 「外ですれ違っても会釈する程度だった人が、今では姿を見かけると『今度はいつだっけ?』って話かけてくれます。それが一番うれしかったことかな」。スタッフのみなさんは笑顔で活動を振り返ります。



こらんしょ会

源宗山地区

開催日時 月2回(第2、第3土曜日)
 午前10時から午前11時30分
 開催場所 源宗山集会所
 参加費 1回の参加につき200円

会の始まりと終わりに「年をとってどんなこと」を参加者全員で歌います

「みんなでおくとおいしいね」、「カレーライスなんてしばらくぶりに食べたこと〜」
 6月9日、源宗山集会所で開かれた『こらんしょ会』。高橋とし子さんが腕をふるった特製のカレーライスを囲みながら、参加者は会話を弾ませます。ご飯は「天のつぶ」を使ってふっくらと炊き上げ、カレーは肉の代わりにツナ缶を使用。「高齢者の方でも食べやすいように」。そんな優しさが込められたカレーライスは大好評で、あっという間に「売り切れ」しました。
 * * * * *

寄合い処 いっぶく

塚野目地区

開催日時 月1回(第3日曜日)
 午後1時から午後4時
 開催場所 塚野目集会所
 参加費 無料 ※活動内容により会費徴収

▼協力スタッフのみなさん



▲「わずかな時間でも、気軽に立ち寄って顔を出して欲しい」という思いから、晴れた日には外にもテーブルを並べてみなさんを迎えます

▶地区のみなさんに作り方を教えてもらいながら、“ちまき”づくりに励む子どもたち。小さきまな“ちまき”が出来上がりました



「1人暮らしだと、カレーライスを食べる機会ってほとんどないんです。だから今日は“みんなでカレーライスを食べよう”って」

「誰でも気軽に顔を出し」
 「源宗山は高齢者の一人暮らし世帯が多いよね」、「みんなが気軽に集まれる場所があれば」。そんな思いを抱いていた高橋さんと鍛冶内悦子さんは、同地区の民生児童委員の齋藤洋子さんにお茶会の開催を相談。町内会長の協力もあり、平成26年4月に『こらんしょ会』を始めました。
 * * * * *



参加者のみなさんも楽しみにしてくれているので、私たちもやりがいを感じます。好評により、6月からは食事会と茶話会の月2回開催することになりました。今後も、無理のない形で続けていきたいと思っています。

参加者に大好評だったカレーライス▶



02

広がる地域の居場所づくり

藤田宮前町内会と石母田原町内会のみなさんは、「くにみささえ愛」に参加し、他の地区の取り組みを参考にしながら、新たな“地域の居場所”づくりに取り組んでいます。



藤田宮前町内会長
八巻 竹治さん

「くにみささえ愛」に参加する藤田宮前町内会のみなさん

藤田宮前町内会

「同じ町内会でも自分の班の人しか分からない」、「みんなで楽しく集まれる場所があればいいのにね」。ご近所さんとのそんなやりとりをきっかけに、「くにみささえ愛」に参加した大津美代子さんは、町内会長の八巻竹治さんに相談。同じ思いを抱いていた八巻さんは、協力者を募って「くにみささえ愛」に参加し、他の地区の事例を参考にしながら、藤田宮前町内会独自の“地域の居場所”づくりに取り組んでいます。

「藤田宮前町内会は比較的新しい町内会で、“昔からのお付き合い”というものが他の地区に比べて少ないんです。高齢化が進み、地区での交流は希薄化する一方。このままではいけないという危機感がありました」と、“地域の居場所”立ち上げの経緯を話す八巻さん。「無理せず長続きできるように、まずは茶話会から始めていこうと考えています」と、意気込みを語ります。

石母田原町内会

「高齢者の一人暮らしが増えている中、ここ数年、集中豪雨が多発し、石母田原町内会でも避難を余儀なくされた経験から、“地域で互いに支え合っていかなければ”という思いが強くなりました」と話す松浦和子さん。

そこで、近久さき子さんをリーダーとする7人の協力者が集まり、生活の基本である“食”を通して地域の住民が集うことができる「食堂」の開催を企画。松浦さんは「食堂では、“おいしい”は“うれしい”を基本として実践し、みんなが笑顔になれる場所にしていきたいと思っています」と、意気込みを語ります。



「食堂」を運営する協力者のみなさん

“地域の居場所”づくりのヒント

国見町地域包括支援センター 半澤久美子 さん

“地域の居場所”づくりには、運営を担う協力者が不可欠。しかし、協力者のみなさんが負担に感じてしまうと、活動を続けることが難しくなります。まずは、自分たちにできる範囲で、無理のない活動から始めることが大切です。そして、一番は協力者が自ら楽しんで参加することが活動が長続きするポイントだと思います。

「くにみささえ愛」では、“地域の居場所”づくりについて話し合いをしていますので、ぜひ一度お越しください。お待ちしております！



「くにみささえ愛」の様子



1 和気あいあいとした雰囲気で行われる『寄合処』。参加者から笑顔が絶えません 2 「世話人」のみなさんが活動を支えます 3 “ちまき”づくりで会話を弾ませる参加者

宮東寄合処

宮東町内会

開催日時 月1回(第3木曜日)
午後1時30分から午後3時
開催場所 宮東集会所
参加費 1回の参加につき100円

「子ども頃は、おやつ代わりに作ってもちやぶりに作ってたけど覚えてるもんだね」
6月21日、宮東集会所で開かれた『宮東寄合処』。こちらでも“ちまき”作りが行われ、参加者は思い出話に華を咲かせます。
地域や家庭によつて作り方が異なる“ちまき”。“い草はこやつて結ぶとほどけないんだよ”、“本当だ。私にも教えて”。参加者はお互いに馴染みのある作り方を披露しながら、手際良く“ちまき”を作ります。
出来上がった“ちまき”をみなさんで味わった後は、端午の節句にちなんだ童謡「こいのぼり」と「背くらべ」を合唱。「懐かしくて、涙がでちゃうな」と、目頭を押さえ、懐かしむ参加者の姿もありました。
* * * * *
毎月1回、宮東町内会で開いている『宮東寄合処』。町内会長の佐藤庄蔵さんの呼びかけで、8人の「世話

「最初は2、3人の参加でも構わない、まずは悩まずやってみよう”。
そんな思いで始めましたが、毎回20人以上が集まり楽しく過ごしています」

人」とともに平成29年12月に活動を始めました。主な活動は茶話会で、毎回20人以上が集まります。
「世帯数が多い町内会ですが、一人暮らしの高齢者も多く、家族がいても若い人は働きに出ていて、日中は家に一人きりという人もいます」と話す佐藤さん。また、「せっかく集会所があるのに、使用する機会は年に数回。もっと有効活用したいという思いがありました」と、『寄合処』開催の経緯を話します。
『寄合処』は、町内会の出来事やお知らせなど、情報を共有する場でもありません。「オレオレ詐欺や成りすまし詐欺が増えているから気を付けて」。佐藤さんは高齢者に気遣いながら、参加者に呼びかけます。
「難しい決まりは何もありません。声を掛け合って、一人でも多くの人に参加してほしいです。そして、毎月のちよつとした楽しみにしてもらえたら」。佐藤さんは、『寄合処』のさらなる発展に期待を寄せます。

レクリエーションを楽しむ「いきいきサロン」の参加者
 (内谷・鳥取地区)



「いきいきサロン」は、町社会福祉協議会をはじめ民生児童委員や健康推進員、ボランティアのみなさんなどの協力のもと、概ね65歳以上の高齢者を対象に、毎月1回、各地区の集会所などで開催しています。

「いきいきサロン」では、茶話会や健康相談、体操、手芸、料理など、さまざまな活動が行われています。また、参加者の希望により、講師を招いて各種講演

会や教室を開催したり、新年会やお花見会、クリスマス会などの季節の行事も行われ、地区のみなさんと交流を深めながら、楽しく活動しています。

平成29年度には、新たに山根地区でも「いきいきサロン」がスタートし、現在町内24か所で開催されています。今後、サロンの運営を支える地区の協力者の育成を図りながら、新たなサロン開設に繋げていきます。

生きがいき活動の場 いきいきサロン

町では、高齢者の閉じこもりを解消して社会参加を促し、生きがいきや健康づくりを推進するため、「いきいきサロン交流事業」を行っています。

03 さまざまな地域の居場所のカタチ

「新たに一から“地域の居場所”を作るのは大変…」。そう思っていないですか？ “地域の居場所”に、決まった「カタチ」はありません。実はあなたの身近な場所にも、すでに多くの“居場所”があるのです。

地域で支え合う 通いの場 介護予防事業

町では、超高齢社会の今、介護が必要な状態になっても生きがいや役割を持って暮らすことができ、互いに支え合える地域づくりを目指して、平成28年度から介護予防事業「通いの場」を始めました。



▲今年度、滝山町内会でスタートした「通いの場」

通いの場とは？

「通いの場」は高齢者のみなさんが、日常的に地域のみなさんとふれ合うことができる身近な“地域の居場所”です。体操教室を通して高齢者の健康増進と介護予防を図るとともに、地域における交流の場としての役割も期待されています。

町では、「通いの場」の立ち上げを希望する地区に対し、週に1回、全15回にわたって運動指導士を講師として派遣し、地区の集会所などにおける体操教室の運営をサポートしています。

講師派遣終了後は、自主的な活動として継続していくかどうかを地区のみなさんに委ねられますが、平成29年度までに「通いの場」に取り組んだ10地区全てにおいて、講師派遣終了後も「ぜひ続けていきたい」という声が多く上がり、自主的な活動につながっています。地区によって参加者数や開催頻度は異なりますが、運動後に茶話会や食事会などを開催している地区もあり、地区内の交流を深めています。

また、今年度は新たに3地区で「通いの場」が立ち上がることになり、すでに「滝山町内会」で活動がスタートしています。今、「通いの場」を通じた“地域の居場所”づくりが広がっています。

地域の居場所”は、名前や形のあるものだけではありません。地域のみなさんが顔を合わせ、互いに繋がることができる「きっかけ」となる場所であれば、それは立派な“地域の居場所”なのです。例えば、地域で行われるお祭りや年中行事などの伝統・文化活動から、玄関先や道端で盛り上がるご近所さんとの立ち話に至るまで、それらすべてが人と人との繋がりを生み出す“地域の居場所”になるのです。

目に見えない地域の居場所

今、地域の「支え合い」の輪は、地域のみなさんの手によって、少しずつ広がりを見せています。この輪をさらに広げていくためには、私たち一人一人が地域が抱える課題と正面から向き合い、「自分事」として考える必要があります。それこそが、地域の「支え合い」を育む「結」の心なかなではないでしょうか。

これから先もずっと、住み慣れたこの国見町で安心して暮らしているために、私たちが今できること、一緒に考えてみませんか？

「くにみささえ愛」に参加してみませんか？

「くにみささえ愛」は、地域のみなさんによる“地域づくり”を応援します。新たな“地域の居場所”の立ち上げを考えている人や、地域の心配ごと・悩みごとを抱えている人など、誰でも自由に参加することができますので、気軽に参加ください。詳しくは問い合わせください。

保健福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125

「通いの場」自主開催地区

平成30年6月現在

地区	教室名	場所	開催日時
第2町内会	し・あ・わ・せ健康教室	第2多目的集会所	毎週金曜日 13:30～14:30
西大枝地区	ハッピー体操教室	東部高齢者等活性化センター	第1・3金曜日 13:30～14:30
本町・大町北町内会	まごころ倶楽部	まごころサービス国見センター	第1・2・3金曜日 10:00～11:00
第3町内会	さくら体操クラブ	第3町内会集会所	毎週金曜日 10:00～11:00
第8町内会	にこにこ体操教室	徳江南部公民館	毎月第1金曜日 13:30～14:30 ※7・8月は活動休止
大町南町内会	かたくりの会	まごころサービス国見センター	第1・2・3水曜日 14:00～15:00
第1町内会	しゃしゃんと長生きクラブ	第1町内会集会所	毎週金曜日 10:00～11:00
宮町南町内会	元気会	光陽集会所	毎週金曜日 13:30～14:30 ※第5週目休み
小坂・太田川町内会	太陽クラブ	こさかふるさと館	毎週金曜日 10:00～11:00 ※第5週目休み
鳥取・内谷地区	陽だまり	鳥取・内谷防災センター	毎週火曜日 13:30～14:30 ※第1週目休み

70歳から
74歳までの
みなさんの

限度額が変わります 高額療養費 & 高額介護合算療養費

平成30年8月より、70歳から74歳までの方の高額療養費の上限額および高額介護合算療養費の限度額が変わります。負担能力に応じたご負担をいただき、全ての方が安心して医療を受けられる社会を維持することを趣旨とした改正です。みなさんのご理解をお願いします。

高額療養費上限額

適用区分		外来（個人ごと）月額	外来+入院（世帯ごと）月額
現行	現役並み 課税所得 145万円以上の方	57,600円	80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1% <多数回 44,400円 ※ 2 >
	一般 課税所得 145万円未満の方 ※ 1)	14,000円 <年間上限 144,000円 >	57,600円 <多数回 44,400円 ※ 2 >
	住民税非課税 II 住民税非課税世帯 I 住民税非課税世帯 (年金収入 80万円以下など)	8,000円	24,600円 15,000円

適用区分		外来（個人ごと）月額	外来+入院（世帯ごと）月額
改正後 (平成30年8月から)	現役並み III 課税所得 690万円以上の方	252,600円 + (医療費 - 842,000) × 1% <多数回 140,100円 ※ 2 >	80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1% <多数回 44,400円 ※ 2 >
	II 課税所得 380万円以上の方 ※ 3)	167,400円 + (医療費 - 558,000) × 1% <多数回 93,000円 ※ 2 >	57,600円 <多数回 44,400円 ※ 2 >
	I 課税所得 145万円以上の方 ※ 3)	18,000円 <年間上限 144,000円 >	57,600円 <多数回 44,400円 ※ 2 >
一般	課税所得 145万円未満の方 ※ 1)	14,000円 <年間上限 144,000円 >	57,600円 <多数回 44,400円 ※ 2 >
住民税非課税	II 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	I 住民税非課税世帯 (年金収入 80万円以下など)	8,000円	15,000円

- ※ 1 世帯収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合や「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含まれます。
- ※ 2 過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から多数回となり、上限額が下がります。
- ※ 3 現役並み I、II の所得区分の方が限度額での現物給付を受けるためには限度額適用認定証の交付を受けることが必要となります。8月1日以降、保健福祉課国保係で申請をお願いします。

高額介護合算療養費限度額

適用区分		限度額(70歳以上) ※ 2 年額
現行	現役並み 国保・後期 課税所得 145万円以上の方	67万円
	一般 課税所得 145万円未満の方 ※ 1)	56万円
	住民税非課税 (所得が一定以下の場合)	31万円 19万円 ※ 3

適用区分		限度額(70歳以上) ※ 2 年額
改正後 (平成30年8月から)	現役並み 国保・後期 課税所得 690万円以上の方	212万円
	II 課税所得 380万円以上の方	141万円
	I 課税所得 145万円以上の方	67万円
一般	課税所得 145万円未満の方 ※ 1)	56万円
住民税非課税	(所得が一定以下の場合)	31万円 19万円 ※ 3

※ 1 世帯収入の合計額が520万円未満(1人世帯の場合は383万円未満)の場合や「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含まれます。

※ 2 対象世帯に70歳から74歳と70歳未満が混在する場合、まず70歳から74歳の自己負担合算額に限度額を適用した後、残る負担額と70歳未満の自己負担合算額をあわせた額に限度額を適用します。

※ 3 介護サービス利用者が世帯内に複数いる場合は31万円です。

保健福祉課国保係
☎ 585-2785

国見町国民健康保険

新しい国保改革始まる！ 平成30年度の 保険料率は据え置き

平成28～30年度と3年間同じ税率となりました

■国保制度改革

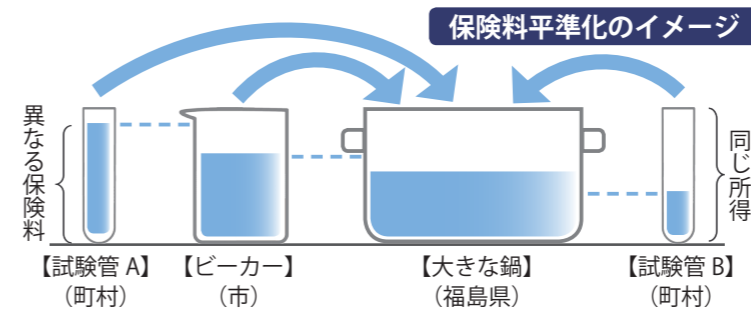
今年4月より、国民皆保険を将来にわたり堅持するため、国保制度が変わりました。

◆福島県が国保の財政運営の責任主体となりました
県全体の国保財政を運営することにより、急激に医療費が増加した場合でも、保険料率に跳ね返りにくいメリットがあります。

現在 同じ規模の町村でも、医療費に差があれば保険料は異なります。

…試験管 A と試験管 B: 同じ所得でも、医療費(試験管の中の水量)の大小により保険料が異なります。

今後 福島県という大きな鍋に水を移すと、同じ所得であれば、医療費(試験管の中の水量)が増加しても、保険料はわずかしか上がりません。



- ①市町村間で大きな差がある保険料を平準化し、福島県全体で公平な負担に近づけていきます。
- ②市町村が抱える医療費増加リスクを、福島県全体で分散させます。

■平成30年度国保税率は据え置き

4月からの国保制度改革により、平成30年度の国保税率は据え置くこととなりました。【右表】

この結果、被保険者1人あたりの平均保険税額は1.8%減少しました。(課税標準額などの減少による)

【下表】

平成30年度国民健康保険料の税率(前年度据置き)

	医療分	支援金分	介護分
所得割	6.24%	2.52%	1.85%
均等割	24,000円	9,200円	9,200円
平等割	20,800円	8,400円	5,400円
課税限度額	58万円※	19万円	16万円

※【H29】54万円 ⇒【H30】58万円

1世帯および一人あたりの平均保険税負担額(年額)

	医療分		支援金分		介護分		合計	
	1世帯	1人	1世帯	1人	1世帯	1人	1世帯	1人
30年度	119,667円	62,305円	46,802円	24,367円	28,690円	23,763円	179,934円	93,683円
29年度	122,000円	63,016円	48,035円	24,811円	29,973円	24,465円	184,775円	95,441円
増減額	2,333円	711円	1,233円	444円	1,283円	702円	4,841円	1,758円
増減率	△1.9%	△1.1%	△2.6%	△1.8%	△4.3%	△2.9%	△2.6%	△1.8%

■国保税率以外の変更点(制度改革)

5割軽減と2割軽減の所得判定基準が引き上げられました。【下表】

	平成29年度	平成30年度
7割軽減	基礎控除額(33万円)以下	基礎控除額(33万円)以下
5割軽減	基礎控除額(33万円)+27万円×被保険者数※	基礎控除額(33万円)+27.5万円×被保険者数※
2割軽減	基礎控除額(33万円)+49万円×被保険者数※	基礎控除額(33万円)+50万円×被保険者数※

※被保険者には、同じ世帯の中で国保から後期高齢者医療制度に移行した方も含まれます。

■【被保険者のみなさんへお願いです】

保険料は国保制度運営のための大切な財源です。忘れずに納期限内に納めましょう！

国保料は世帯主の方に課税されます。(世帯主が加入していなくても、家族の方が加入していれば、世帯主の方に納税義務があります。納付方法は、①年金天引き(特別徴収)、②口座振替、③現金納付(納付書)になります。※納税通知書にあなたの納付方法が記載されています。

■国保制度改革などについて、詳しくは問い合わせください。

保健福祉課国保係 ☎ 585-2785

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



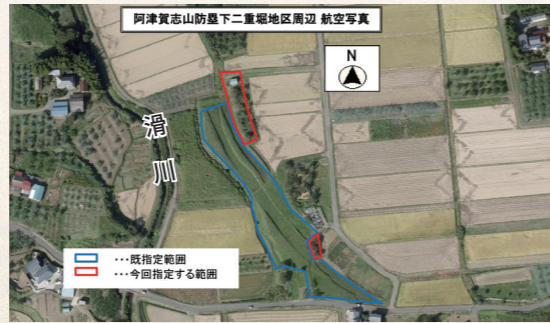
阿津賀志山防塁 国史跡指定範囲が拡大！

阿津賀志山防塁の二重堀始点地区と下二重堀地区の一部が、国史跡に追加指定されました。



▲二重堀始点地区の追加指定された箇所（赤枠範囲）

これまで町が継続して行ってきた、範囲・内容確認調査の成果をもとに、追加指定について意見具申していた範囲が、6月15日に国文化審議会の文化財分科会から文部科学大臣に対し、文化財に追加指定するよう答申がありました。



▲下二重堀地区の追加指定された箇所（赤枠範囲）

今回の指定は、昭和56年、平成28年に続く3度目で、左・上図の赤枠で囲まれた範囲2,052.21平方メートルが追加となりました。

国見町のシンボルである阿津賀志山防塁を、地域の誇りとして後世に継承するため、今後も範囲・内容確認調査を継続して行い、史跡の追加指定と公有地化を進めていきます。
※今回指定する箇所は私有地となっています。立ち入りはご遠慮ください。

阿津賀志山防塁 歴史公園整備事業説明会を開催

～後世に伝えたい阿津賀志山防塁～

6月16日、国見東部高齢者等活性化センターで、阿津賀志山防塁の歴史公園整備事業について、町民説明会を行いました。

この事業は、阿津賀志山防塁について町内外の多くの方の認識を高め、その歴史を体感してもらうために、下二重堀地区を歴史公園として整備するものです。説明会には町内から20人が参加し、町職員より整備事業に係るこれまでの経過や取り組み、今後の事業計画について説明しました。



▲説明会の様子

その後、現段階の計画図を片手に現地を視察し、昨年度に行った発掘調査や整備箇所を確認

しながら意見交換を行いました。実際に現地を見て、公園の導線やスケールを体感した参加者からは、具体的な意見やアドバイスが多く寄せられ、整備の課題や改善点などを参加者全員で共有しました。

また、この整備事業を含む『阿津賀志山防塁整備基本計画』の策定に係る意見募集を7月9日まで行いました。みなさんからお寄せいただいた意見を参考に、阿津賀志山防塁をより魅力あふれる文化財として保存・活用できるよう取り組みを進めます。



▲現地視察の様子

【第64回福島県高等学校体育大会出場】▶陸上競技（ハンマー投げ）栗原陽愛（高1）、阿部雪那（高2）、▶陸上競技（やり投げ）村上茉桜（高3）、柔道競技・瀬野翼（高3）、野村成美（高2）、▶ソフトテニス競技／引地佑菜（高2）、岩城綾音（高1）、菊地順子（高1）、▶バスケットボール競技／奥村七海（高3）

【第73回東北高等学校陸上競技大会兼秩父宮賜杯出場】▶陸上競技（ハンマー投げ）阿部雪那（高2）、▶陸上競技（やり投げ）村上茉桜（高3）

【第38回東北高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会出場】鈴木芽生（高2）

【第61回東北高等学校ソフトテニス選手権大会出場】引地佑菜（高2）

【第54回東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会出場】工藤彰悟（高1）

【第38回全日本バレーボール小学生大会福島県大会出場】国見ダイヤモンドスポーツ少年団

がんばるみなさんを応援

町青少年育成町民会議 奨励金交付

国見町青少年育成町民会議（太田久雄会長）は6月26日、県大会や東北大会に出場し、健闘されたみなさんに奨励金を交付しました。



各大会で健闘したみなさん

「新」教育長に岡崎忠昭氏を任命

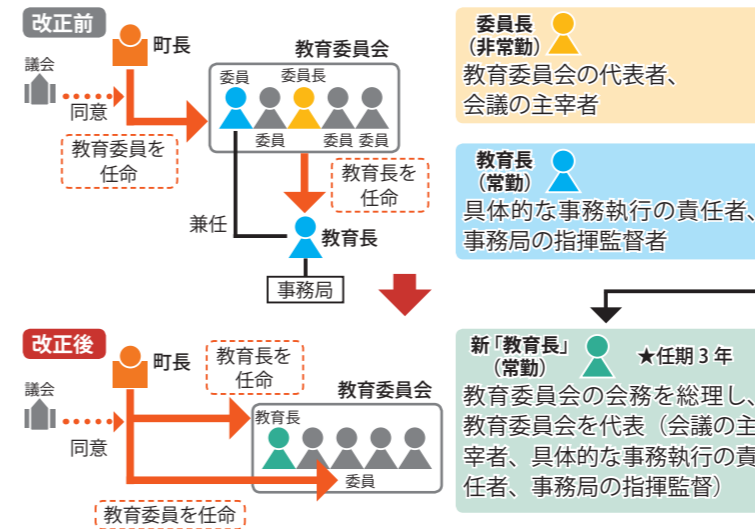
新制度へ移行 国見町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日に施行されました。町は、これまで法律の経過措置により旧制度を適用していましたが、7月1日より新制度へ移行しました。



太田町長から辞令交付を受ける岡崎教育長(左)

POINT ① 教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置



これまでの課題

- 町長は教育長を任命していない？
- 緊急事態！会議招集のタイミングは…？
- 教育委員長と教育長、どちらが責任者？

教育委員長と教育長を一本化

- 町長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化
- 第一義的な責任者が教育長であることが明確に
- 緊急時にも、常勤の教育長が教育委員会会議の招集タイミングを判断

POINT ② すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置

町長が教育行政に果たす責任や役割が明確になるとともに、町長が公の場で教育政策について議論することが可能に
町長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にたることが可能に

POINT ③ 教育に関する「大綱」を町長が策定

大綱とは、教育の目標や施策の根本的な方針。教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参照して定める
総合教育会議において、町長と教育委員会が協議・調整を尽くし、町長が策定。町長および教育委員会は、それぞれの所管する事務を執行



太田町長に種を手渡す半田理事長(左)と「たびくまくん」(中央)

“ヒマワリを福島復興のシンボルに” チームふくしまがヒマワリの種を寄贈

ヒマワリの種を通じた復興支援「福島ひまわり里親プロジェクト」を展開するNPO法人チームふくしまは6月12日、全国から届けられたヒマワリの種約8万粒を町に寄贈しました。贈呈式では、半田真仁理事長とマスコットキャラクター「たびくまくん」から太田久雄町長へヒマワリの種が手渡されました。寄贈された種は役場や道の駅、小学校などで配布します。



啓発活動を行う太田町長と「くにみもたん」

“忘れず守ろう納期限” 納税への理解と期限内納付を呼びかけ

町は6月15日、道の駅国見あつかしの郷で「納税への理解と期限内納付」を呼びかける啓発活動を行いました。啓発活動には太田久雄町長や町税務課職員、「くにみもたん」らが参加。昨年度の国見町小中学生「税に関する作品コンクール」の入賞作品の標語が書かれたポケットティッシュを来場者に配りながら、納税の大切さを呼びかけました。



みんなで仲良く植えました

“花”を通して思いやりの心を育む 国見小学校で“人権の花運動”

国見小学校園芸委員の児童16人が6月15日、同校で人権擁護委員のみなさんと「人権の花運動」に取り組みました。この運動は、みんなで協力しながら花を育てることを通して思いやりの心と人権思想を育むことを目的としており、児童らはマリーゴールドやベゴニアの花苗をプランターに丁寧に植えました。後日、大切に育てた花は町に寄贈する予定です。



「くにみもたん」とサイコロで対決！いざ勝負！

子どもたちの笑顔があふれる くにみキッズフェスティバル

『くにみキッズフェスティバル』が6月17日、道の駅国見あつかしの郷で開かれ、町内外から多くの親子連れが来場しました。会場では、「くにみもたん」とのサイコロじゃんけん大会やマジカルバルーンショー、『福島三人娘x』によるコンサートが行われ、子どもたちの笑顔があふれる一日となりました。



毎月19日は「みんなで食べる国見の日」です！

減塩&野菜を食べよう！ ～6月は食育月間です～

6月の食育月間に合わせ、町食生活改善推進員のみなさんは6月19日、コープmart国見店とハシドラッグ国見店で減塩と野菜の摂取を呼びかける食育啓発活動を行いました。啓発活動では、推進員のみなさんが「生活習慣病を予防し、健康に過ごすため、1日350g以上の野菜を食べましょう」と利用者に呼びかけながら、簡単レシピなどを配布しました。



ご協力ありがとうございます

みんなでみどりを守りましょう 緑の募金協力を呼びかけ

国見町緑化推進委員会（太田久雄会長）は5月16日、JR藤田駅前緑化推進の啓発を兼ねた募金活動を行いました。募金活動には、太田会長はじめ会員のみなさんや「くにみもたん」らが参加し、駅の利用者に「お帰りなさい」「いつてらっしゃい」などと声を掛けながら、「緑の募金」の協力を呼びかけました。みなさんのご協力ありがとうございました！



今年もミスピーチのみなさんと全国各地でPRします

福島のおいしいモモを全国にPR ミスピーチキャンペーンクルー来庁

2018ミスピーチキャンペーンクルーが5月25日、国見町役場を訪れ、キャンペーン活動開始のあいさつをしました。ミスピーチのみなさんは「福島の果物の魅力と生産者の思いを全国にPRします」と意気込みを語り、太田久雄町長が「まだまだ根強い風評の払しょくのため、まごころ込めてPRしてください。今年も一緒に頑張りましょう」と激励しました。



目録を手渡す川見代表（中央）と阿部会長（右）

社会福祉の向上に役立てて 桜歌謡会が町に寄付

桜歌謡会は5月30日、国見町役場を訪れ、社会福祉に役立ててほしいとの目的で町に4万1,202円を寄付されました。寄付金は、5月27日に開かれた「第8回桜歌謡祭」で出演者や来場者から募ったものです。贈呈式では、桜歌謡会の川見金吉代表と阿部正幸会長から太田久雄町長へ目録が手渡され、太田町長は「有効に活用します」と謝辞を述べました。



子どもたちに大人気の「くにみもたん」も協力

くにみもたんと一緒に 「おいしい水、安全な水」をPR

6月1日から7日までの水道週間に合わせ、町は6月7日、コープmart国見店とハシドラッグ国見店で広報活動を行いました。広報活動には太田久雄町長や町上下水道課職員、「くにみもたん」らが参加し、水道に対する理解と関心を深めてもらうと、利用者にパンフレットや風船を配りながら「おいしい水、安全な水」をPRしました。



雨の中奉仕作業に励んだ青年部のみなさん

地域のみなさんに感謝を込めて 国見町商工会青年部が奉仕作業

6月10日の「商工会の日」に合わせ、国見町商工会青年部は6月11日、国道4号国見パーキングでゴミ拾いを行いました。赤坂稔部長は「青年部の活動は地域のみなさんに支えられて成り立っているの、少しでも地域に恩返しができる」と話し、青年部のみなさんはあいにくの雨にもかかわらず、路肩や植え込みのごみなどを丁寧に拾い集めていました。

保健 だより



保健福祉課 保健係 ☎ 585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

子宮頸がん・乳がん検診を受けましょう！

平成30年度の子宮頸がん・乳がん検診は7月から実施しています。先に実施した「健康管理世帯調査台帳」で、町の検診を希望した方には受診録等を配布していますので、案内をよく読んで受診されますようお願いいたします。

また、乳がん検診はマンモグラフィ撮影のみの実施となります。視触診は行いません。国の指針の変更に伴うものですので、ご理解をお願いします。

なお、次に該当する方は保健福祉課保健係まで連絡ください。

- ・春の健康管理世帯調査（検診対象者アンケート）の際に町の検診を希望しなかった方で、新たに検診を希望する方
- ・昨年検診を受けていない奇数年齢の方で今回検診を希望される方（子宮頸がん検診・乳がん検診は、どちらも国の指針で2年に1回の受診となります。）

今年度対象者（年齢起算日：平成31年3月31日）

- 子宮頸がん検診 ⇒ 20歳以上の偶数年齢
- 乳がん検診 ⇒ 40歳以上の偶数年齢



県民健康調査「妊産婦に関する調査」にご協力ください

この調査は、東日本大震災以降、福島県内の不安を抱えた妊産婦のみなさんに対して、サポートを提供すると同時に、福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦のみなさんの現状やご意見・ご要望を把握し、よりよい産科医療および育児支援を提供できるよう活かしていくことを目的に実施しています。

次の「今年度の対象者①」の方には、秋頃に調査票が送付されますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

- 対象者 ①平成29年8月1日から平成30年7月31日までに福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

■ 問い合わせ 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
妊産婦専用ダイヤル
☎ 549-5180（平日午前9時から午後5時）

ニコニコ相談会

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	9月19日(日)	午前10時から 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしています。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！
《申込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎585-2374）に電話で申込みください。

乳児健診

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成30年5月生まれ） ・9か月児（平成29年11月生まれ）	9月27日(日)	午後1時15分から 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

3歳6カ月児健診

該当児	実施日	受付時間	会場
平成26年12月1日から 平成27年2月28日生まれの幼児	9月4日(日)	午後1時30分から 午後1時45分	森江野町民センター

【健診内容】 内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。
心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽に相談ください。
健診該当者には後日健診票を郵送します。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

食育シリーズ



町では、食生活改善推進員のみなさんと栄養士が出向いて、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。6月は次の内容で開催しました。



このお魚、ぼく知ってるよ！

年中組
テーマ
「食材あてクイズ」

年長組
テーマ
「食事のマナーについて」



ごはんを食べるときのお約束、守ろうね



募集

観月台公園管理会 会員募集

国見町観月台公園管理会では、一緒に公園管理を行う会員を募集しています。公園管理会では、主に月2回の清掃など、憩いの場である観月台公園の美化作業に取り組んでいます。花や植木が好きな方、興味のある方であればどなたでも参加できます。詳しくは問い合わせください。

☎ 総務課財政係
585・2114

消防組合職員募集

平成31年度伊達地方消防組合職員(高校卒程度)採用候補者試験を実施します。

- ▼職種 消防吏員
- ▼採用予定 6人程度
- ▼受験資格 平成6年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人(性別、学歴は問いません)
- ▼1次試験 9月16日回
- ▼会場 ぶくしま中町会館
- ▼受付期間 7月11日(金)から8月10日(金)まで
- ▼申込方法 受験申込書は消防本部総務課での配布または、当消防組合ホームページからのダウンロードも可能です。
- ☎ 伊達地方消防組合消防本部総務課
575・0180

55歳から輝く自分へ！
『調理補助講習』受
講者募集

福島県シルバー人材セン
ター連合会では、働く意欲のある高齢者が職業経験等に関わらず多様な職業を選

自衛官募集

自衛官を次のとおり募集
します。

募集種目	資格	受付期間	試験期日
航空学生	高卒(見込含む) 海: 18歳以上23歳未満 空: 18歳以上21歳未満	9月7日 まで	1次: 9月17日 2次: 10月15日から21日※ 3次: 11月17日から12月20日※
一般曹 候補生	18歳以上27歳未満	年間を通 じて受付	1次: 9月21日から23日※ 2次: 10月12日から17日※
自衛官 候補生			受付時にお知らせします。

※いずれか1日を指定

☎ 自衛隊福島地方協力本部
福島募集案内所
545・7995

お知らせ

後期高齢者医療被保 険者証更新

後期高齢者医療の被保険
者証は、毎年8月1日に更
新することになっていま

扱できるよう、技能講習を
開催し、就職に必要な能力
の習得を支援します。

- ▼日程 8月1日(金)から9日(日)の7日間
- ▼会場 福島市民会館 他
- ▼定員 20人
- ▼料金 無料
- ▼対象 働く意欲のある55歳以上の者
- ※ハローワークでの求職登録が必須
- ▼内容 調理補助を行うための基礎的な知識をはじめ、調理・盛り付け方法、食品衛生等について、講義と実技を通じて習得する
- ▼申込・問い合わせ 福島県シルバー人材センター連合会
521・6081

結婚新生活を 応援します



婚姻に伴う新生活を経済的に支援し、少子化対策を推進するため、「国見町結婚新生活支援事業補助金」を交付します！

- 対象経費(対象となる経費は次のとおり)
 - ※他の公的支援等を受けているものは対象外
 - ①住居費 婚姻を機に新たに住宅を取得する費用または住宅物件の賃借に係る賃料等
 - ②引越費用 引越し業者または運送業者への支払い等引越しに係る実費
 - 補助金額
対象となる経費の合計額とし、上限24万円
 - 必要書類
 - ①交付申請書
 - ②婚姻届受理証明書または戸籍謄本
 - ③所得・課税証明書
 - ④住居費用の領収書等支払の確認できる書類
 - ⑤引越費用の領収書等支払の確認できる書類
 - ⑥住宅手当支給証明書
 - ⑦貸与型奨学金の返還額のわかる書類
 - ⑧その他町長が必要と認めるもの
 - 申請受付期間
平成30年6月1日から平成31年3月31日まで
※予算に達した時点で受付終了
 - 申請方法
申請に必要な書類を添付して、保健福祉課社会福祉係へ提出してください。詳しくは問い合わせください。
- ☎ 保健福祉課社会福祉係 585-2793

- 対象者(次の要件をすべて満たす人)
 - ①平成30年1月1日から平成31年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦
 - ②婚姻日における年齢が夫婦ともに34歳以下
 - ③平成29年1月1日から平成29年12月31日までの夫婦の合計所得が340万円未満(離職した場合、貸与型奨学金の返済を行っている場合は、算出方法が異なります)
 - ④対象となる住居が国見町内にある
 - ⑤夫婦の住所が対象となる住居にある
 - ⑥町税等の滞納がない
 - ⑦他の公的制度による家賃補助を受けていない
 - ⑧過去にこの制度に基づく補助を受けていない

新しい後期高齢者医療被
保険者証を7月未までに送
付しますので、8月1日以
降に医療機関を受診する際
は、必ず新しい被保険者証
を窓口にて提示してくださ
い。

☎ 保健福祉課国保係
585・2785

下水道排水設備工事 責任技術者資格認定 試験及び受験講習会

平成30年度下水道排水設
備工事責任技術者資格認定
試験および受験講習会を開
催します。

- 【資格認定試験】
- ▼試験日 11月4日(日)
- ▼試験会場 日本大学工学部(郡山市)
- 【受験講習会】
- ▼講習日 10月9日(火)
- ▼講習会場 郡山ユラックス熱海(郡山市)
- 【共通】
- ▼申込期間 7月18日(金)から8月31日(金)まで
- ▼申込先 上下水道課下水道係

▼問い合わせ、申込書、案内書の請求先 上下水道課
下水道係
☎ 585・2984

※試験等の詳細は、町および(公財)福島県下水道公社のホームページをご確認ください。

公立藤田総合病院 第60回元気セミナー

公立藤田総合病院では、
地域のみなさんに向けて定
期的に「元気セミナー」を
開催しています。

申込不要、無料のセミ

ナーですので、気軽にお越
しください。

- ▼日時 7月26日(金)午後4時から
- ▼会場 公立藤田総合病院総合受付前ホール・シヤングリラ
- ▼演題 動脈硬化のお話(全身の血管を軟らかくしてねたきりになるのを防ぎましょう)
- ▼講師 公立藤田総合病院副院長 脳神経外科 佐藤昌弘
- ☎ 公立藤田総合病院健康管理センター
585・2121

農業委員会からの お知らせ

7月の農業委員会定例総会は次の
とおりです。傍聴においでください。

- ◆日時 7月17日(火)
午後1時30分から
- ◆場所 国見町役場
2階 大会議室
- ◆問い合わせ 農業委員会事務局
☎ 585-2890

戸籍の窓口

5月21日～6月20日受付分
【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

吉田 成奈ちゃん (貝田)
智敬さん 紀子さん

菊地 菜月ちゃん (第10)
保さん 友子さん

渡部 美咲ちゃん (高城)
幹也さん 美奈さん



● おくやみ申し上げます ●

高橋 シモさん 92 (泉田中)

山田 英夫さん 83 (前田)

佐久間なつ子さん 84 (原町)

阿部 利一さん 87 (泉田下)

鴨田 文男さん 80 (小坂)

伊藤 勉さん 77 (山崎宮館)

高村まゆみさん 59 (大坂)

大庭チヨノさん 98 (山崎小館)

石黒アイ子さん 93 (宮町南)

古川 比司さん 72 (宮町北)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

8月の相談会

「心配ごと相談」

開催日 8月9日(金)、23日(金)

時間 午前9時から正午

場所 観月台文化センター
第2和室

相談員 民生児童委員

「障がい者相談」

8月21日(日)

午前10時から午後4時

観月台文化センター
第2和室

NPO法人「ひびきの会」

※秘密は厳守します。費用はかかりません。予約制ではありません。気軽に来場ください。

保健福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793

戸籍の窓口からのお知らせ

平日木曜日は住民生活課戸籍係窓口業務を午後7時まで延長しています

《窓口延長の日》7月12日、19日、26日
8月2日、9日、16日、23日、30日

《交付できる証明書等》住民票・戸籍証明書、印鑑登録証明書の交付、印鑑登録、戸籍の届出

※取扱いできない手続き 転入・転出・転居等の住所異動の届出、税証明書等の交付はできません。

※詳しくは、戸籍係までお問い合わせください。

住民生活課戸籍係 ☎ 585-2115

人口と世帯

平成30年5月31日現在

※ 広報くにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

人口	9,279人	(△13)
男	4,468人	(△6)
女	4,811人	(△7)
世帯	3,423世帯	(△2)

広報くにみに掲載された写真を希望する方は、総務課

☎ 585-2111 (代表) まで連絡ください。

広報くにみ&町ホームページに 広告を掲載してみませんか?

町では、広報くにみや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。詳しくは問い合わせください。

申込期限(9月号掲載分): 8月10日(金)まで

広報くにみ

1枠 (縦45 ^{ミリ} ×横174 ^{ミリ})	12,000円/1回
半枠 (縦45 ^{ミリ} ×横84 ^{ミリ})	6,000円/1回

ホームページ

1枠 (トップページ下段)	6,000円/月
---------------	----------

総務課文書広報係 ☎ 585-2113

タテ45^{ミリ}

ヨコ174^{ミリ}



ネットの危険から子どもを守るために 保護者ができる3つのポイント

7月は「青少年の非行・被害防止全国協調月間」です

子どもを取り巻くインターネット利用環境が大きく変化する中で、子どもたちがネットに関わる犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが増加しています。

子どもたちをトラブルや犯罪から守るために、保護者が行うべき3つのポイントを紹介します。

ポイント1 子どもにインターネットの特徴や有害情報の危険性、個人情報を守る必要性などを説明し、本人に危機意識を持たせるようにしましょう。

ポイント2 家庭のルールを子どもと一緒に作り、成長とともに少しずつ改定していきましょう。

- ルールの具体例**
- ・名前や顔写真、学校名などは書き込まない
 - ・トラブルの時はすぐに保護者に相談する など

ポイント3 不適切な情報や危険な出会いなどを防ぐために、フィルタリングを賢く利用しましょう。



不動産取得税の特例措置

【原子力災害により被災した場合の特例措置】

原子力災害により居住制限区域、帰還困難区域、避難指示解除準備区域内にある家屋およびその敷地に代わるものを取得した場合、一定の要件を満たしていれば、申請により特例措置による軽減を受けることができます。

【三世帯同居・近居住宅を取得した場合の特例措置】
子育て支援策の一環として、県内に三世帯以上の方が同居または近居する住宅を平成29年4月1日から平成32年3月31日までに取得した場合、申請により不動産取得税の一部について軽減を受けることができます。

詳しい内容や申請方法は、問い合わせください。
☎ 521-2694
福島県東北地方振興局 県税課 課税第一課 不動産取得税チーム

見学してみませんか? 福島県危機管理センター

福島県危機管理センターでは、児童・生徒や自治会、防災関係者のみなさんの施設見学や防災講座の受講を随時受け付けています。

▼見学内容 自然災害に対する備えなど防災について、映像やパネルを使用し て学びます。

▼見学受付時間 9時から午後4時(正午から午後1時、年末年始・祝日を除く)

※見学の10日前までに申込みください。団体・グループでの見学とさせていただきます。

▼防災講座 施設見学に加えて防災講座の受講も可能ですので、相談ください。

▼問い合わせ・申込先 福島県危機管理部危機管理課 ☎ 521-8651

視覚障がい者の教育相談

疾病などによる視機能低

下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等)で、就学や進学、就労でお困りの方の教育相談・支援相談を行っています。

▼開催日 月・金・土 午前9時から午後4時

▼対象 乳幼児から成人の方まで
気軽に問い合わせください。(ホームページも参照ください。)

県立視覚支援学校(旧盲学校・福島市) ☎ 534-2574

広告掲載

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- 7月11日 ㊟ 子ども移動図書 (2年生)
- 14日 ㊤ 国見ジュニア応援団 (～15日)
ベーゼンドルフアー夏の特別試弾会 (～15日)
- 16日 ㊤ 少年仲間づくり教室③
- 17日 ㊟ 三学級合同学習 町長講話
- 18日 ㊟ くにみ女性教室
- 20日 ㊤ 成人学級
- 21日 ㊤ 三屋裕子講演会 in 国見
- 23日 ㊤ 少年仲間づくり教室④キャンプ(～25日)
- 27日 ㊤ 国見つ子わんぱく広場③
古典文学講座「宮沢賢治の世界」①
- 28日 ㊤ 世界の料理講座
- 8月 2日 ㊟ 国見つ子わんぱく広場④ (～3日)
くにみ女性教室 (～3日)
- 6日 ㊤ 休館日
- 8日 ㊟ 少年仲間づくり教室⑤
- 10日 ㊤ 子ども司書講座
(県立図書館・こむこむツアー)
- 12日 ㊤ 国見ジュニア応援団

手話通訳あり

国見町応援大使
三屋裕子講演会 in 国見町

日時 7月21日(土) 午後2時から
 場所 観月台文化センター・ホール
 入場料 無料 ※入場整理券が必要です

☎観月台文化センター ☎585-2676

国見つ子わんぱく広場がスタート



みんなでオリジナルの名札をつくったよ!

国見つ子わんぱく広場の開所式が5月26日、国見小学校体育館で行われました。今年は小学校1年生から3年生74人の申込みがあり、元氣いっぱいにスタートしました。

開所式では、阿部雅好国見小学校長が「きまりを守って、楽しく遊びましょう」とあいさつした後、全員で『大きなうた』を歌いました。

その後、自分の名札を作



風船つき楽しいね

り、グループで協力しながら風船つきや絵あわせパズルなど、さまざまなゲームで遊びました。

参加した子どもたちは、3年生が下級生をリードしながら、仲良く過ごしていました。

キッズシアターを開催

「平成30年度キッズシアター」が6月14日、観月台文化センターホールで開催され、国見小学校児童を対象に、東京都武蔵野市の劇団前進座による演劇『龍の子太郎』が披露されました。

観劇した児童は、演者の迫力ある芝居や歌、踊りに真剣なまなざしで見入っていました。また、生の舞台の醍醐味あふれる演出に大きな歓声を上げ、目を輝かせていました。



迫力の舞台で子どもたちを魅了

町長杯スポーツ大会表彰式

約600人が参加！健闘を讃える

町長杯スポーツ大会表彰式が6月11日、観月台文化センターで行われ、太田久雄町長から入賞者へ優勝杯・賞状が授与されました。成績は次のとおりです。

- 【ソフトボール】▼優勝 小坂クラブスパークス▼準優勝 T.イーグルス▼三位 アンダーグラウンド、GET/S
- 【家庭バレーボール】▼優勝 ブラックパンサー▼準優勝 スピリッツ▼三位 コスモス
- 【卓球】(シングルス)▼優勝 本間春花▼準優勝 鈴木忠(ダブルス)▼優勝 本間春花・松浦もも▼準優勝 佐藤寛紀・八巻吉貴(テニス)▼優勝 橋内悠・松浦光男▼準優勝 菊地さかえ・菊地慎一
- 【パークゴルフ】▼優勝 佐藤裕一▼準優勝 佐藤豊治
- ▼三位 佐藤洋子【グラウンドゴルフ】▼優勝 矢部ヒロ子▼準優勝 山田重吉▼三位 名和重雄【軟式野球】▼優勝 国見町役場【バウンドテニス】

- ▼優勝 山本あき子・大村明裕▼準優勝 黒田正一・曳地正二▼三位 曳地すみえ・八巻とみみ【ソフトテニス】(一般)▼優勝 安彦拓郎・金子裕樹(ジュニア)▼優勝 斎藤快史・塚原有悟【柔道】(団体)▼優勝 国見町スポ少A(個人)▼優勝 佐藤光▼準優勝 佐藤善久▼三位 野村俊介【剣道】(団体)▼優勝 奥州チーム(中学生)▼優勝 渡邊旭▼準優勝 志村尚哉▼三位 石田聖虎(小学高学年)▼優勝 加藤大悟▼準優勝 後藤絢▼三位 志賀元徳(小学低学年)▼優勝 朝



入賞おめでとうございます

内佑光▼準優勝 村木智洋▼三位 岡崎璃大

沢木順ミュージカルセミナー



ステップの基本を指導する沢木さん

国見町応援大使の沢木順さんのミュージカルセミナーが6月9日、観月台文化センターで開催され、約30人が参加しました。

セミナーでは、感情表現、発声方法、日常生活でも役立つ姿勢や歩き方などを、沢木さんが実演しながら参加者に指導。沢木さんの軽快なトークに、会場からは終始笑い声があふれました。

子ども司書講座 開講



書庫を見学する子どもたち

町の読書リーダーを育成する子ども司書講座開講式が6月9日、観月台文化セ

ンターで行われました。今年度は16人の応募があり、子ども司書13人も加わって、賑やかにスタートしました。

開講式後、図書館の役割や図書の種類などを学び、センター内の図書施設を見学した子どもたちは、司書の仕事にますます興味を持った様子で、やる気に満ちあふれていました。

世界の料理講座

～国見町産桃を使用したフランス料理～

生産量・品質ともに日本一の国見の桃「あかつき」と道の駅国見あつかしの郷「桃花亭」の若いシェフたちによる本格フランス料理とのコラボレーション。エスプリの効いたクラシックギターの演奏とともに、真夏の一夜をお楽しみください。

日時 7月28日(土)
 講演：午後6時 (開場：午後5時30分)

場所 道の駅国見あつかしの郷

料金 10,000円 (税込)

定員 20名 (先着順)

チケット販売 7月14日(土)午前9時から
 観月台文化センターで販売

☎観月台文化センター ☎585-2676

7月くにみ カレンダー

日	月	火 10	水 11	木 12	金 13	土 14
		・広報くにみ 7月号発行日	・いきいきサロン 第3(午後1時半~)	・戸籍窓口延長日 (午後7時まで) ・心配ごと相談 ・いきいきサロン 耕谷(午前10時~) 藤田(午後1時半~)	・いきいきサロン 第8・第9 (午後1時半~)	・ペーゼンドルファー 夏の特別試弾会
15	16	17	18	19	20	21
・ペーゼンドルファー 夏の特別試弾会	海の日 ・少年仲間づくり 教室	・三学級同学習会 (町長講話) ・障がい者相談 ・いきいきサロン 山根(午前10時~) 徳江北・第7 (午後1時半~)	・粗大ごみ収集日 ・くにみ女性教室 ・ニコニコ相談会 ・いきいきサロン 第1(午後1時半~)	・戸籍窓口延長日 (午後7時まで) ・いきいきサロン 第2(午後1時半~)	・成人学級 ・いきいきサロン 大木戸(午後1時半~)	・三屋裕子講演会 in 国見
22	23	24	25	26	27	28
	・少年仲間づくり教室 (キャンプ~25日) ・いきいきサロン 板橋・板橋南 (午前10時~)	・いきいきサロン 石母田(午後1時半~)	・いきいきサロン 貝田(午後1時半~)	・戸籍窓口延長日 (午後7時まで) ・心配ごと相談 ・乳幼児健診3・9か月 ・いきいきサロン 大枝(午前10時~) 泉田中(午後1時半~)	・国見っ子わんぱく 広場 ・古典文学講座 「宮沢賢治の世界」 ・いきいきサロン 源宗山(午前10時~) 光明寺(午後1時半~)	・世界の料理講座 ・くにみご案内week (~8/12)
29	30	31	8/1	8/2	8/3	8/4
・小型家電リサイクル 特別回収日 (午前8時半~正午)	・いきいきサロン 高城(午後1時半~)	・税金等納期限 固定資産税 (第2期) 国民健康保険税 (第1期)	・粗大ごみ収集日 ・いきいきサロン 太田川(午後1時半~)	・戸籍窓口延長日 (午後7時まで) ・国見っ子わんぱく 広場(~3日) ・くにみ女性教室 (~3日) ・いきいきサロン 塚野目(午後1時半~)	・くにみ周遊ツアー	・国見まるごと再発見!
8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11
・くにみ周遊ツアー	・観月台文化 センター休館日 ・いきいきサロン 山崎(午前10時~)	・広報くにみ 8月号発行日	・少年仲間づくり 教室 ・いきいきサロン 第1(午前10時~)	・戸籍窓口延長日 (午後7時まで) ・心配ごと相談 ・いきいきサロン 耕谷(午前10時~)	・いきいきサロン 第8・第9 (午後1時半~)	山の日

国見町ラヂオ課 ももたんFM

● 毎週金曜日10:00 ~ 10:55 ON AIR! ●
ふくしまFM / 81.8MHz / kunimi@fmf.co.jp

ラヂオ課、スタッフ・最近体形が気になる石川です。梅雨時期なのにあまり雨が降らないですね。農家さんにとっては降るときに降ってほしいものですね。国見町を取材で歩くようになって、特に果物・桃の収穫が気になります。7月から、道の駅でもどんどん国見産の桃が登場します。この前、やしき園の阿部郁さんに取材してきましたが、順調な生育だ、ということでは

安心しました。きっとこの文章を読んでいるころには、おいしい“はつひめ”がどんどん出荷されているでしょう。阿部さんのところでは、桃と合わせて“あんず”もシーズンに入った、ということで食べさせてもらいました。今年のあんずは、甘さも強く、とてもおいしい! この夏も、国見町で果物を楽しみます! ま、体形は置いておいて…。さて、7月からももたんFMもパワーアップ。新たな広報担当が就任しました。しかも、国見町の皆様にもお会いしたことがあるかもしれません。以前、スタッフとして活躍していた橋本志津子さんが戻ってきました。番組でその声を聞けます。ますます、国見町の情報を暑く熱くお伝えします。ご期待ください。



あどがき

今月は「くにみささえ愛」の特集の取材で、各地区で開かれている“居場所”にお邪魔しました。その居心地の良さ甘えて、私もみなさんと一緒に楽しいひとときを過ごさせていただきました。ごちそうになったカレーライスも“ちまき”も、本当においしかったです。またいつか、(今度は取材としてではなく)お邪魔させていただきますね。(Y.T)